

高槻市民憲章による 市民協働のまちづくりを

岡井寿美代 ※遠矢家永子
森本 信之

※は発言者

地域公共交通 計画策定に向けた取組は

議員 地域公共交通の在り方の課題は優先順位の高い施策で重点化されていますが、提案された計画策定に向けた取組について伺います。

市長 地域公共交通を取り巻く環境が大きく変化する中で、どのように維持するかが課題となっていることや、法改正で地域公共交通計画の作成が努力義務化されたことを踏まえ、将来にわたり市民の移動手段を持続可能な形で確保するため、計画策定に向けて取り

組んでいます。計画策定には関係機関や様々な主体と連携し取り組む必要があると考えます。

市民公益活動サポートセンターへの更なる支援を

議員 市民公益活動サポートセンター支援の予算増額は一歩前進ですが、NPOと市の協働を推進する中間支援として財源も人材も不足しているため、更なる体制強化を要望します。全庁的な市民協働の推進に対する考えを伺います。

市長 市民公益活動サポートセンターに登録する団体情報をまとめたNPOカルテを庁内に発信し、市民協働の推進に取り組んで



▲市民活動団体をPRする
たかつきNPO協働フェスタ

います。また同センターと連携し団体の活動を紹介する動画作成を進めており、庁内関係部署へ周知します。令和4年度には同センター創設20周年を迎え、更なる機能の充実を図れるよう、管理運営に係る補助金の増額、たかつきNPO協働フェスタ等を通じた市民公益活動の促進及び市民協働の推進に取り組めます。

医療的ケア児支援 新たな取組は

議員 医療的ケア児支援法が施行され、医療的ケア児在籍の保育所や学校等への支援等が国や地方公共団体の責務となり、看護師等の配置や、通学・通園の支援などの対応が求められています。令和4年度の取組を伺います。

市長 保育所等では、令和4年度も市職員の看護師配置や、高度な医療的ケアが必要な子どもには訪問看護ステーションの活用等、適切な支援に努めます。

小中学校では、人工呼吸器などの医療的ケアが必要で重度肢体不自由を伴う児童生徒が対象の通学支援事業を新たに実施します。

利用保留児童対策 多子世帯の入所の課題は

議員 いち早く待機児童ゼロを達成したことは評価しますが、親が育児できる状況にあるなどと判断された場合は待機児童にならず、利用保留児童は隠れ待機児童と言われ、働きのながら子育てをせざるを得ないと考える多くの女性から不安の声を聞いています。利用保留児童対策と多子世帯の入所の課題認識を伺います。

市長 ゼロ歳児から2歳児の受け皿確保のため小規模保育事業所の整備に取り組めます。また多子世帯の保育所等の入所は現状、保護者が同じ保育所等を希望しても待機となる場合がありますが、今後は他世帯との公平性も考慮し、入所選考での加点を検討します。

はにたん
高槻市
マスコットキャラクター



本会議のライブ配信のご案内

高槻市議会では、YouTubeによる本会議映像のライブ配信を行っています。

傍聴に行けない場合でも、パソコンやタブレット端末、スマートフォンから本会議をリアルタイムで視聴することができます。

5月臨時会でも、本会議のライブ配信をぜひご活用ください。



▲本会議の
ライブ配信